

北海道武蔵女子短期大学 総合型選抜（前期日程） 対策ゼミワークシート

【事前記入】 記入例【探究学習】タイプ

(1) 本学の総合型選抜でPRしたいと考えていることは、何ですか。具体的に記入してください。

案1	「有害鳥獣を活用したビジネス」について 鹿などによる環境被害を、ビジネスを通じて減らしたい
(案2)	

【以下は、対策ゼミで記入（事前に目を通して、必要な資料は当日持参すること）】

(2) 上記(1)の取り組みをしたきっかけ、取り組み方、成果について具体的に記入してください。

●きっかけ

「課題研究」という授業内で、熊の出没の多さとハンターの減少の問題について知り、有害鳥獣のビジネス活用に関する研究を始めた。

●取り組み方（いつ頃・あるいはどのような順序で、だれが何を行ったか）

3年時の4月から始めた。

現在の有害鳥獣の食肉加工・活用におけるビジネスについて調べた。食肉加工施設内の仕組み、ハンターが直面している課題について調査し、その後実際に工場へ施設見学に行き、調べたことと現場の実情について確認をした。これらを整理してから、改めて活用されているものを知るために、ジビエ料理を扱っているお店やジビエ料理コンテストについて調査し、3年時末(年度末)の校内発表会に向けた新たなビジネス活用の方策を見つけ、提案するために調査・研究を続けている。

●成果（明らかになったこと、わからなかったこと）

有害鳥獣を活用していくための第一の受け皿となる食肉加工施設の設備には多額の費用が必要であること、その地域には、食肉加工施設が2つしかないことから1つの工場の負担が大きくなってしまっていること。

(3) この取り組みを通じて、自身の成長を感じることはありましたか。成長につながったと実感したのは、どのような時ですか。

●成長したこと

知識が増え、理解を深めることができた。自主的に動くことを求められたことで、人任せにせず、自ら質問をし、まとめたことで、得られた情報の理解が深まったこと。

●どのような時にそれを感じたか

施設見学の事前調査を徹底的に行い、見学の際に調べきれなかったことについて、職員の方々に直接お話を聞くことが出来たこと。

(4) この取り組みを通じてみつかった、本学に進学後さらに深めたい学び、高めたい能力、将来の目標などを、具体的に記入してください。本学のホームページや大学案内などを参照ください。

ジビエ料理を活用して成功している企業がホテル業界でも多くあるため、新しいものばかりに目を向けるのではなく、既存のものをどのように観光資源化し、集客につなげるかについて、貴学に進学後、学んでいきたい。

そのためにも、他国文化に関する授業や研修を通じて、海外でのビジネスの活用法や有害鳥獣の主な被害を、自分で調べられるようになりたい。

北海道武蔵女子短期大学 総合型選抜（前期日程） 対策ゼミワークシート

【事前記入】 記入例 【課外活動や将来像】タイプ

(1) 本学の総合型選抜でPRしたいと考えていることは、何ですか。具体的に記入してください。

案1	高校1～3年次までクラス委員の議長を務め、そこで学んだことを総合型選抜で報告したい。議長として、文化祭のクラス企画を決める司会進行、修学旅行での代表挨拶、模擬選挙での学年全体への演説などを行った。
(案2)	

【以下は、対策ゼミで記入（事前に目を通して、必要な資料は当日持参すること）】

(2) 上記(1)の取り組みをしたきっかけ、取り組み方、成果について具体的に記入してください。

●きっかけ

多くの人と交流し、自分を高めていきたいと考えたから。中学生の時に部活動の部長や学級委員長を経験し、他者と関わる大切さや楽しさ、そして難しさを実感した。このことから、高校でも同様の活動を通じて、行動力やコミュニケーション能力を身につけ、高校卒業時の自分自身の成長に繋がりたいと考えた。

●取り組み方（いつ頃・あるいはどのような順序で、だれが何を行ったか）

特に学びが多かったのは、文化祭のクラス企画を決める司会進行でした。なかなか企画が決まらず、クラスメイトが意見を出しづらい状況があったので、それを改善するため、一人ひとりに直接話しかけたり、友人同士での話し合いの時間を設けたりした。その結果、議論が活発になり、企画もスムーズに決まった。具体的な結果として、アイデア数では、一人ひとりに声をかけ、直接話を聞くことで、2つほどしか出なかった意見を7つまで増やすことができた。さらに話し合いの時間が、最低30分かかっていたのに対して、意見交換の機会を作ることで、15分に半減することができた。

●成果（明らかになったこと、わからなかったこと）

明らかになったこととして、この経験から司会者としての発言が、話し合いを円滑に進めるためには重要であることを実感した。しかし、より多くの人からアクションを取れる司会の仕方については、まだ課題が残っており、さらなる学びが必要だと感じている。

(3) この取り組みを通じて、自身の成長を感じることはありましたか。成長につながったと実感したのは、どのような時ですか。

●成長したこと

人と話すことが苦手だったが、議長という仕事を通して、また普段から周囲を意識し、積極的にコミュニケーションを取ることを意識した。そのことで、人間関係作りに積極的になれたし、広い視野で物事を見られるようになった。

●どのような時にそれを感じたか

集合写真を撮影するため整列の指示をしていた際に、人数が足りないというハプニングにも臨機応変に対応することができた。さらに、あまり話したことがないクラスメイトとも話すきっかけができ、交流の場を増やすことができた。

(4) この取り組みを通じてみつかった、本学に進学後さらに深めたい学び、高めたい能力、将来の目標などを、具体的に記入してください。本学のホームページや大学案内などを参照ください。

以上の経験を通して、貴学では次の2つのことに積極的に取り組みたいと考えている。

1つ目は、ビジネス教養課程を受講し、挨拶や正しい敬語の使い方など、社会で実際に活用できるスキルを身につけること。人前で話すことが多く、敬語を上手く使えないことにもどかしさを感じることもあるため、相手に対するマナーや言葉使いを学び、その学びを深めるために、秘書検定の資格取得を目指す。

2つ目は、少人数のグループディスカッションにおいて、説得力ある話し方や効果的な対話スキルを磨き、リーダーシップとフォロワーシップの両方を学ぶこと。

これらの学びを活かして、将来は社会に貢献し、人から頼られる社会人になりたいと考えている。

